

「まぐね」創刊にあたって

日本応用磁気学会の新しい会報誌「まぐね」をお届けします。すでに学会誌等でご報告させていただいていますが、2006年1月より学会誌を、学術論文を対象とする論文誌「日本応用磁気学会誌：英文名称 Journal of The Magnetics Society of Japan」と、解説、トピックス、連載講座、あるいは会員への連絡事項などを掲載する会報「まぐね：英文名称 Magnetics Japan」に分離いたしました。



編集委員長 二本正昭

ご承知のとおり、本学会では1977年の学会発足時から日本応用磁気学会誌で学術論文、解説、トピックスや学会関連情報などを、主として和文での掲載を行ってきました。2001年からは英文学術論文を掲載するために英論文誌 (Transactions of The Magnetics Society of Japan) を発行しています。これまでの学会誌では、オリジナリティーが要求される学術論文と技術や研究を解説した記事や会員への連絡情報などが混在しています。学会の規模がそれほど大きくない場合には、1冊の学会誌に多様な記事が掲載されているのは会員にとって便利な状況と思われる。しかし、応用磁気学会の会員数は設立当時に比べて増大し、研究活動の幅も急速に広がり、さらにアジア地区の学会との交流なども活発化してきています。国内外の関連学会でも、多様な記事を一つの会誌に掲載する例は少数となりつつあります。本学会の発展と国際化の流れなどを踏まえて、学会誌の望ましい姿を編集委員会を中心に議論を重ねてきましたが、すでにご報告のとおり論文誌と会報に分離することにいたしました。これまでの学会誌の名称と巻・号を、今後、学術論文を対象とした論文誌に引き継ぎ、新たに会報「まぐね」を創刊することにいたしました。学会誌では学術論文の迅速な出版を、会報では多様化・高度化が急速に進みつつある研究や技術などをわかりやすく解説した記事を充実させていきたいと考えます。

これまで別冊で発行してきました英文論文誌は新しい日本応用磁気学会誌に統合され、新論文誌では、和文および英文の論文が掲載されます。研究のボーダーレス化の流れを踏まえますと、英文で論文を発表いただくことにより読者層が広がり、引用の機会も拡大することになります。将来に向けて英論文投稿が増えることを期待します。論文タイトルやアブストラクトの公開は時代の流れです。本学会もJSTの科学技術情報発信・流通システム (J-Stage) に参加し、最新の学術論文を電子ジャーナルとして公開し始めました。多くの方に本学会誌の論文を知っていただけたと思います。日本応用磁気学会誌のインパクトファクターの早期取得も目指します。また、論文投稿・査読プロセスの電子化により、従来に比べて投稿から出版までの時間が短縮化されつつありますが、今後、本学会の過去出版論文のアーカイブ化・電子化を行い、ネットを通してすべての論文の検索・閲覧できるようにし、会員の利便性を向上させたいと考えます。

会報誌「まぐね」は、応用磁気に関連する重要な情報をわかりやすく記述し、会員にとって気軽に親しみをもってご覧いただけるようにいたしたいと考えます。応用磁気が関与する

産業分野では、技術の高度化、多様化が急速に拡大しており、技術の流れをとらえることが必ずしも容易ではなくなりつつあります。「まぐね」では、関連分野や社会動向なども考慮して注目すべき研究や技術あるいは技術と社会のかかわりなどを特集テーマとして取り上げます。会員外も含めて広範囲かつ適切な方に執筆を依頼し、高度な技術内容を専門が異なる会員や学生会員にも容易に理解いただけるよう平易な記述をお願いしていきたいと考えます。また、応用磁気研究のバックボーンとなる重要技術を今後計画的に連載講座として取り上げ、分野を代表する研究者に、わかりやすく系統的に解説していただきます。研究会や学会案内などの情報も含め、「まぐね」をご覧いただくことにより、応用磁気が関係する分野の状況を理解いただけるように努力してまいります。

装いも新たになった論文誌と会報「まぐね」が、会員の皆様の今後の研究と技術開発にますますお役に立てることを祈念いたします。